

教育
指導課

希望に満ちた新1年生の門出

市内の全小・中学校で入学式

4月7日、市内の全小・中学校で入学式を行いました。

山内小学校では、校庭の桜が満開の中、新入生8人を迎え、入学式が行われました。6年生と手をつないで一緒に入場した新入生は、点呼で一人一人元気よく返事をしました。

続いて、定宗由里校長が「1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を楽しみにしていました。山内小学校で『人』『勉強』『場所』など、たくさんの好きなことを増やし、自分を大きく伸ばしていきましょう」とお祝いの言葉を贈りました。

その後、在校生を代表し、6年生の栗下陽向さんが「楽しいことがいっぱい山の山内小学校と一緒に仲良く過ごしましょう。お兄さん、お姉さんが優しく教えてくれます。これから毎日、安心して元気に来てください」と述べました。

山内小学校は、本年度「自ら伸びる 共に伸びる」を学校目標とし、「ふるさと山内での学びを誇りに思い、自律して生きる自分を創る」児童の育成を目指します。

「学ぶ喜びのある学校」「全員が主役の学校」「地域が誇る学校」となるよう、児童・保護者・地域・教職員で共に取り組んでいきます。



お祝いの言葉を贈る定宗校長



ピカピカの1年生、8人が仲間入り

危機
管理課

被災者の生活再建を支える体制づくり

災害時における被災者支援のための行政書士業務に関する協定




協定書を持つ八谷市長(左)と原田会長(右)

市は、市内で大規模災害が発生した場合に、被災住民の生活再建に向けた支援を迅速かつ円滑に進めるため、広島県行政書士会と「災害時における被災者支援のための行政書士業務に関する協定」を締結し、3月24日に市役所本庁舎で締結式を行いました。

この協定は、災害時に、市が必要に応じて広島県行政書士会に対し被災者支援業務を要請し、罹災証明などの申請手続きの支援や相談窓口を設置することについて定めたものです。

締結式に出席した広島県行政書士会の原田誠会長は「これまで培ってきた行政書士の知見を活かし、被災者が一日でも早く生活を再建できるよう、市との協力体制を構築していきたい」と述べました。

世界へ羽ばたく産業機械、さく岩機メーカー

 ヤマトロックマシン株式会社

✔ 働く人と家族を大切に、未来をつくる会社です

✔ 安心を届ける会社で、一緒に働きませんか？

ACCESS



広島県庄原市東城町川西424-1

TEL 08477-2-2137

ヤマトロックマシン



広告